

調整方法

木質建具は温度と湿度の影響を受けやすく反りが発生する場合があります。当社の建具は建付け調整ができる機能が付いていますので、調整方法をご確認ください。

室内ドア

TA

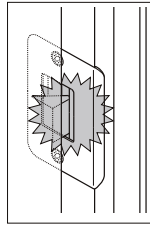
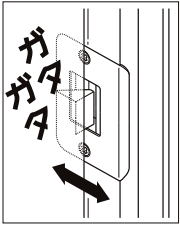
TA 玄関収納

造作材

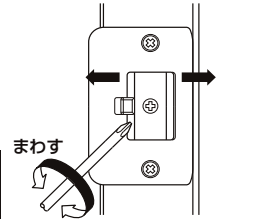
■建付け調整（ストライクによる調整）

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない



ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



■建付け調整（丁番による調整）

上下の調整

●調整幅は、上側に3mm、下側に2mmです。

本体側上丁番
本体側下丁番

調整リング(同梱品)について

入数

- 1mm厚 ×2枚
- 2mm厚 ×2枚

室内ドア
建付け調整方法
動画

565294162001

不具合例	調整方法
1. ドアの上部が枠に当たる。	①ドア本体を垂直に吊上げて取り外します。 ②上下の本体側丁番の標準リングを取り外してください。 ③本体側丁番に調整リングをはめ込んで調整してください。 ④ドア本体を垂直に吊込んでください。

不具合例	調整方法
2. ドアの下部が枠に当たる。	①ドア本体を垂直に吊上げて取り外します。 ②上下の本体側丁番に調整リングをはめ込んで調整してください。 ③ドア本体を垂直に吊込んでください。

※お願い
※ドア本体はキズをつけないよう垂直に吊上げてください。

有償部品

索引

調整方法

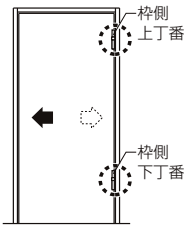
木質建具は温度と湿度の影響を受けやすく反りが発生する場合があります。当社の建具は建付け調整ができる機能が付いていますので、調整方法をご確認ください。

室内ドア

■建付け調整（丁番による調整）

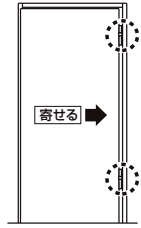
左右の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1mm、戸先側に2mmです。



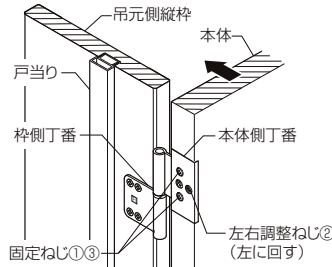
不具合例

1. ドアの戸先側が枠に当たる。



調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 左右調整ねじを左(吊元→)に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



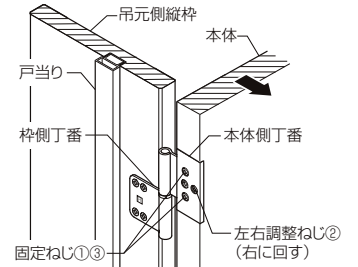
不具合例

2. ドアの戸先側のすき間が大きすぎる。



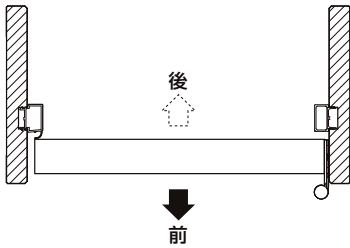
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 左右調整ねじを右(ラッチ→)に回してドアを戸先側に移動し位置を決める。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



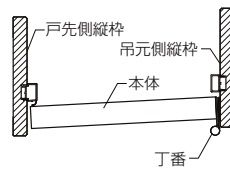
前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



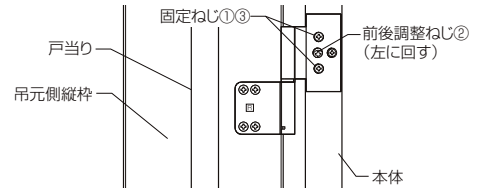
不具合例

1. 戸先側の枠が前に出ている。



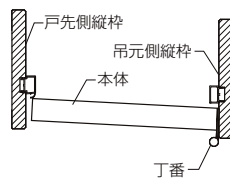
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



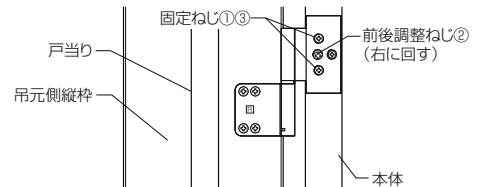
不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。



調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



調整方法

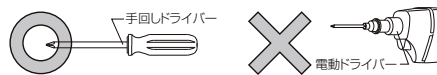
室内ドア
室内引戸

調整方法

施工上の注意

納まり図

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れる恐れがあります。



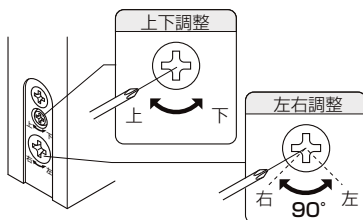
室内引戸

■建付け調整

[上下調整] (調整幅+4mm、-2mm)

※上レールに5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の上レールへのかかりが5mm以上あるか、確認してください。



[左右調整] (調整幅±2mm)

本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。

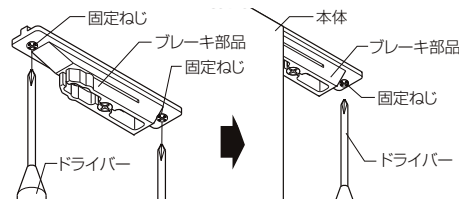
※左右調整ねじの可動範囲は90°です。

これを超過して無理に回さないでください。

■ブレーキの左右調整

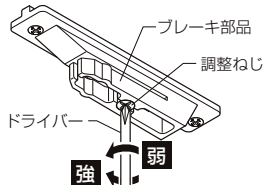
本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。

上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、下図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



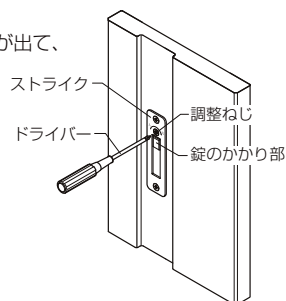
■ブレーキ力調整

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。



■引戸錠のかかり調整

ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



▲注意

- 本体と上レールへのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの本体の調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

Vレール引戸
建付け調整方法
動画
(ラシッサ共通)



■異常時の対処方法

区分	現象	チェックポイント	対処方法
共通	本体同士が当たる 	●戸車調整が不適当	戸車の左右調整をしてください。 ※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超過して無理に回さないでください。
	鍵がかからない ガチャッ! 	●ストライク調整が不適当	ストライク調整ねじを右に回してください。
	鍵が甘い (縦枠と本体戸先にすき間が空く) 	●ストライク調整が不適当	ストライク調整ねじを左に回してください。
ブレーキ	閉まりきらない すき間 	●本体がブレーキと接触している。	戸車を下げてください。
	ブレーキが弱い 	●ブレーキ力調整が不適当	ブレーキ調整ねじを右に回してください。
	ブレーキが強い (開けはじめが重い) 	●ブレーキ力調整が不適当	ブレーキ調整ねじを左に回してください。
	グググッ 	●ブレーキ左右調整が不適当	固定ねじをゆるめ、本体を閉めて位置合わせをしてから固定ねじを固定してください。

TA

TA 玄関収納

造作材

有償部品

索引

木質建具は温度と湿度の影響を受けやすく反りが発生する場合があります。当社の建具は建付け調整ができる機能が付いていますので、調整方法をご確認ください。

調整方法

クローゼットドア 折れ戸

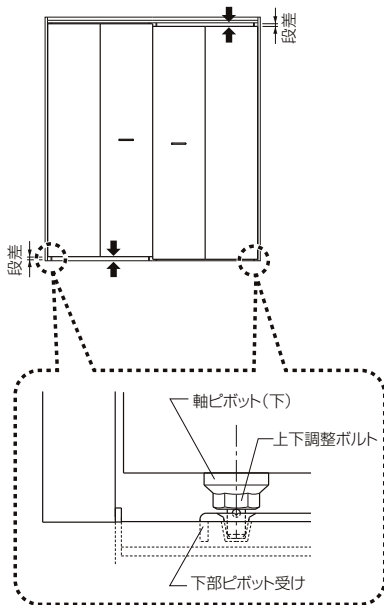
■建付け調整

※本体の段違い(上・下)および左右のチリを調整します。

〈段違い(上・下)の調整〉

●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合

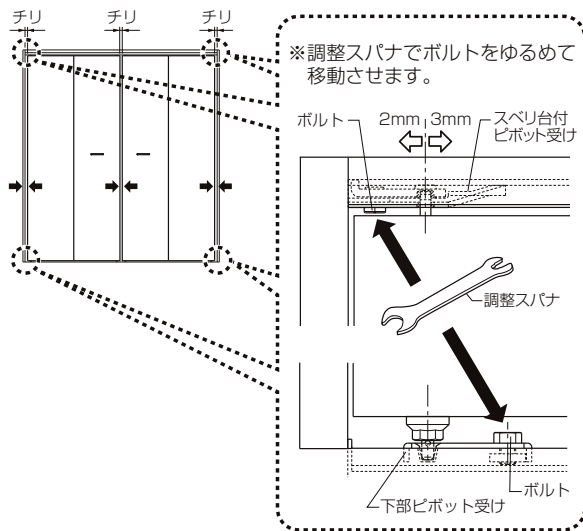
※同梱の調整スパナで軸ピボット(下)の上・下調整ボルトを回して調整します。
※上下調整量：±2mm



〈チリ(左・右)の調整〉

●左右のチリが大きい場合

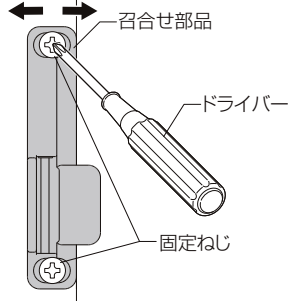
※同梱の調整スパナで上・下のピボット受けのボルトをゆるめ、左右方向の調整をした後、ボルトを締めます。
※左右調整量：吊元側 2mm、可動側 3mm
注)調整完了後、上・下のピボット受けのボルトを同梱の調整スパナで本固定してください。



〈召合せ部品の調整〉

●固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。

調整範囲2mmずつ



クローゼットドア
折れ戸
建付け調整方法
動画



57495041001

調整方法

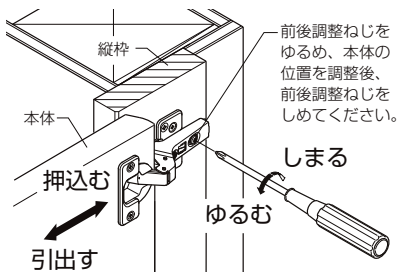
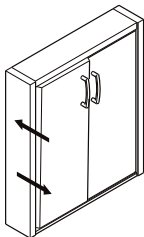
玄関収納
クローゼットドア
クローゼットドア
折れ戸
開き戸

クローゼットドア 開き戸

■建付け調整

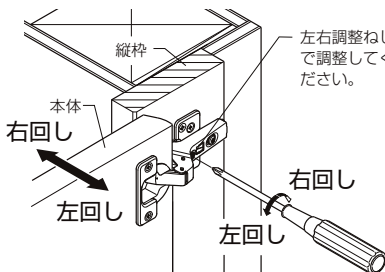
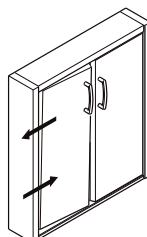
●本体の前後調整範囲

前方向3mm
後方向1mm
(合計4mm)



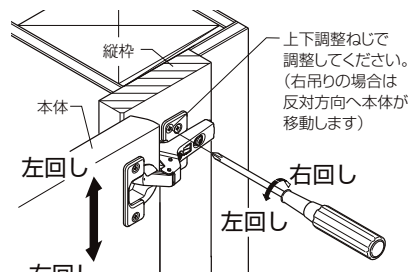
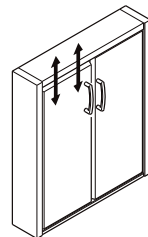
●本体の左右調整範囲

(合計±2mm)



●本体の上下調整範囲

(合計±2.0mm)



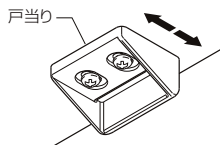
●お願い

※調整範囲を超えてねじ込まないでください。調整ができなくなるおそれがあります。

■戸当りの調整

①本体の建付け調整を行なった後、本体を閉めて戸当りとあたっていていることを確認してください。

※本体と戸当りがあたらぬ場合は、戸当り取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲：奥行き方向に 3mm)



クローゼットドア
開き戸
建付け調整方法
動画
(ラシッサ共通)



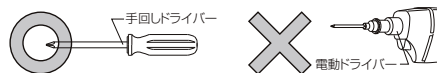
57495041002

調整方法

施工上の
注意

納まり図

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れる恐れがあります。



玄関収納

■建付け調整(丁番による調整)

TA

TA 玄関収納

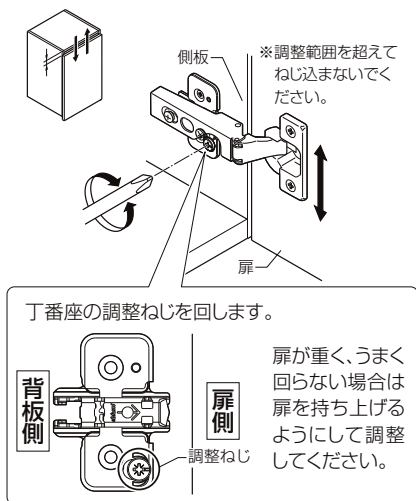
造作材



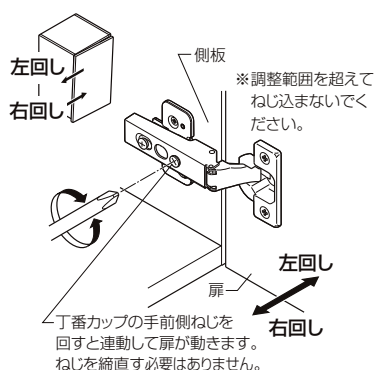
3次元調整丁番

丁番の調整ねじをドライバーで回すと、上下・左右・前後調整が可能です。

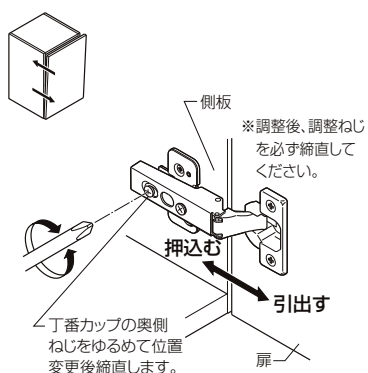
[上下調整] (調整幅±2mm)



[左右調整] (調整幅±2mm)



[前後調整(ねじれ)] (前3mm・後1mm)



●お願い●
 ※隣合う扉の扉端部が干渉すると開閉に支障が生じますので左右調整を必ず行ってください。
 ※入隅に設置する場合は、壁と扉が干渉しないことを確認してください。干渉する場合は、左右調整を必ず行ってください。

有償部品

索引